

飯島大使によるマンガスタウ州の自然・文化遺産視察

10月6日、飯島大使は、マンガスタウ州政府の招待を受け、ボスジラ、キジルクップ（通称「ティラミス」）、ウスチュルト台地を視察しました。これらの壮大な景観は、マンガスタウ州が有する豊かな自然遺産の魅力を象徴するものであり、国際的にも高い評価を受けています。またマンガスタウの岩窟モスク群が UNESCO 世界遺産に登録されたことを受け、同地域の歴史・文化的価値への国際的な関心も一層高まっています。観光やサービス分野でも日本との協力が今後さらに発展することを期待しています。







